

第2回 木津川上流部大規模水害・土砂災害に関する減災対策協議会 議事概要（要約版）

1. 開催日時：平成28年7月26日（火）15:00～
2. 開催場所：名張市役所 大会議室
3. 協議会構成員：名張市長（会長）、伊賀市長（副会長）、津市長、曾爾村長、山添村長、
宇陀市長、御杖村長、笠置町長、南山城村長
三重県（伊賀建設事務所長、津建設事務所長）
奈良県（奈良土木事務所長、宇陀土木事務所長）
京都府（山城南土木事務所長）
木津川ダム総合管理所長、津地方気象台長、木津川上流河川事務所長

4. 議事概要

- (1) 第1回協議会及び幹事会の開催結果（概要報告）について
 - ・事務局より、第1回協議会及び幹事会の開催概要を報告。
- (2) 減災協議会における「取組目標及び方針」（案）及び「具体的な取組内容」（案）について
 - ・事務局より、木津川上流部における「取組目標及び方針」（案）及び「具体的な取組内容」（案）について説明。
 - ・津地方気象台より、新たなステージに対応した防災気象情報について説明。
- (3) 意見交換
 - ・伊賀市長
 - 気象情報を地域単位だけでなく、流域単位で出して欲しい。
 - ・宇陀市長
 - 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）を指定も良いが、事業実施が前提になると考えており、事業化対策を進めて欲しい。
 - ・名張市長
 - 首長にとって、避難指示・避難勧告の出すタイミングが非常に難しい。特に夜中などは、躊躇してしまう。
 - ・津地方気象台
 - 今後は、メッシュ単位での気象情報となり、より細かい単位で把握できるようになる。さらに時系列情報も市町村毎に出るので、広いエリアの状況が確認いただけると思う。
 - ・木津川上流河川事務所長
 - 予測雨量を用いた河川水位の予測は河川単位で実施しており、水系内の河川水位の動向については、問い合わせがあれば対応できると思う。
 - 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定するのは、住民に危険度を認識いただくという主旨に則ったものであり、事業化は予算の関係もあるためご理解いただきたい。

- ・奈良県
 - 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）・土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の指定は、あくまでソフト対策に向けて実施するというのが法の主旨であり、ハード対策は、一定の要件に適合すれば実施することになる。
- ・三重県
 - まだまだ、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）・土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の指定ができておらず、順次基礎調査を進めている段階である。
- ・京都府
 - 山城南土木事務所管内では、かなり指定が進んでいる。
 - 昭和 61 年に大規模な土砂災害があったが、適切な避難行動により犠牲者はなかった。ハード対策の要請もあるが、ソフト対策の重要性はご理解いただいている。
- ・伊賀市長
 - 河川については一元管理されているが、道路情報の一元化も必要である。
- ・木津川上流河川事務所長
 - 現在は、CCTV カメラ等の普及に伴い、相互の情報共有手段は以前よりも格段に良くなっている。県道と国道の相互情報についても、より密な連絡が可能となるように検討していきたい。
- ・南山城村長
 - 木津川上流域の最下流に位置する村としては、上流側の河川情報が気になる。名張川筋は、高山ダム放流量より水位状況が把握できるが、木津川筋の情報がつかめないのが、木津川筋の情報が提供されるような仕組みが欲しい。
- ・木津川上流河川事務所長
 - 木津川本川筋では、岩倉水位観測所などの水位情報をリアルタイムで提供している。
 - 流量はすぐには求められないので、水位情報でご判断いただきたい。
- ・以上を踏まえ、取組方針および取組内容について、承認された。
- (4) 今後の実施スケジュール（案）について
 - ・事務局より、今後の実施スケジュール(案)について説明し承認された。

以 上